

(仮称) 太白 C C 太陽光発電事業に係る
環境影響評価準備書説明会の概要

令和 5 年 8 月

株式会社ブルーキャピタルマネジメント

1. 環境影響評価準備書についての説明会の開催

説明会の開催日時、開催場所及び来場者数は以下のとおりである。

- 第1回

開催日時：令和5年6月23日（金）19:00～20:30
 開催場所：湯元市民センター（宮城県仙台市太白区秋保町湯向 2-20）
 来場者数：7名

- 第2回

開催日時：令和5年6月24日（土）10:00～11:30
 開催場所：湯元市民センター（宮城県仙台市太白区秋保町湯向 2-20）
 来場者数：3名

2. 説明会での質疑応答の概要

説明会での質疑応答の概要は以下の通りである。

No.	項目	意見	当日の回答
1	アセス 手続き	住民意見はクリアな形で反映されるのか。	仙台市や経産省の審査会にて、住民の皆様からの意見を踏まえて議論を進めることとなります。
2	アセス 手続き	「土地の安定性への影響が懸念される」という方法書での市長意見は、準備書のどこに反映されているか。	意見に対する見解を第8章に記載しています。また、ご意見を踏まえて造成計画を検討した結果を準備書の主に第2章にてお示しています。
3	アセス 予測評価	景観の予測結果で、ソーラーパネルのほうがゴルフ場よりも、周囲の緑とのコントラストが小さく目立たないとしている。しかし、ゴルフ場の芝生の色は、利用する人に良い印象を与えてきた、悪いものではない。	※ 当日は明確な回答が出来ておりませんが、景観については、第1回審査会後に先生からご指摘を頂いており、その見解を資料1-2に記載しております。
4	事業計画	対象事業実施区域内にクラックがあるとところもある。重量物がゴルフ場に載ると崩れるのではないか。	クラックは雨水の処理ができていないところで発生しており、あくまで表面上のものです。ボーリング調査を39カ所実施して、どこに岩盤があるか確認しています。また、計算できるところで安定計算し、円弧滑りによる大きな崩壊はないことも確認しています。クラックがある場所のような、法肩で強度が落ちる箇所については、工事の中で修復していく予定です。
5	事業計画	災害や火災、窃盗が発生した際に心配がある。	現状の予防策として防犯カメラやフェンスの設置等、監視管理に努めていく計画です。火災について、発電所の稼働状況、異常がないか、常にコンピュータで管理されています。場内では、警報アラームで異常が見つけれない場合もあるので、監視カメラを複数設置します。火災の原因については、昆虫がパワコンについて熱をもつ異常などがあります。なかなか発見が難しいものの、異常が起きた時点でブレーカーが切れるようしくみになっています。また、24時間駆けつけられる状態の管理者を配置しています。いろいろな天変地異があるものの、電気起因するものは上記の手法で対策します。大雨洪水、雷なども、できるだけ目で見て駆けつけることとします。起こったトラブルに準じて警察や消防などを呼び対応をとって参ります。
6	事業計画	ソーラーパネルを設置すると、どれほどの重量がかかるのか。	1t/m ² と想定して設計していますが、実際はもっと軽くなる見込みです。

3. 環境影響評価準備書について提出された意見数

令和5年8月1日時点で、「環境影響評価法」第18条の規定に基づき、準備書について提出された意見は0件であった。